帯　広　畜　産　大　学

プレス発表資料　　OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

令和５年７月１４日

報道関係者各位

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラムの受講者募集について

帯広畜産大学は、これまで学内で実施してきた社会人人材育成事業のノウハウを活かし、令和５年７月に「高度人材共創センター」を設置いたしました。

この度、新たな社会人人材育成事業として、「農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム」を開講いたします。

本プログラムは、地域農畜産業並びに我が国の農畜産業をけん引する農畜産プロフェッショナル経営人材の育成のため、「農畜産業経営を成長産業とする高度な実務的知識と実践力の習得」と「DX による農畜産業経営の変革に主導的役割を果たしうる総合知の涵養」を人材育成の目的とした履修証明プログラムです。

下記のとおり受講生の募集を行いますので、関係各所にて広くご周知いただきますようお願い申し上げます。

記

◯農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム募集概要

１．実施コース

本プログラムは受講者の知識やスキル、実務経験等に応じて２コースに分けて実施し、それぞれのコースで設定された履修要件時間を修了されると、本学より履修証明書が交付されます。

１）実践力基礎コース

履修要件：必修科目２９時間　選択必修科目３１時間以上

主に新規就農者、金融機関や農業団体の若手職員等を対象とし、「農業経営アドバイザー」の資格取得に対応した科目に加え、農業会計や農業経営財務等の実践的な知識及び技術が習得可能なコースです。

２）実践力強化コース

履修要件：必修科目４７時間　選択必修科目１３時間以上

主に農家や農業法人の経営者、農業経営アドバイザーの資格取得済みの金融機関や農業団体職員を対象とし、実務経験豊富な講師陣のケーススタディやＰＢＬ等により、思考力・課題解決能力を強化し、農業経営や営農指導等にすぐに活かせるコースです。

２．実施期間

令和５年９月１日（金） ～ 令和６年３月１５日（金） 平日１９時～２１時（予定）

※一部科目では土日開催や,半日～終日で実施する科目がございます。

３．会　　場

帯広畜産大学（帯広市稲田町西２線 11 番地）

４．形式

対面及びオンデマンド

５．募集人数

定員２０名程度（各コース１０名程度）

※応募者多数の場合は、応募書類による審査を行います。

６．受 講 料

１００,０００円

※「農業経営アドバイザー」資格取得対応科目の受講及び講師が必要とする場合、別途指定の教材購入費が必要となります。

※遠隔受講の際のデータ通信料は各自ご負担ください。

７．申込方法

別紙「農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム受講生募集要領」をご確認の上、以下の二次元バーコードまたは URL から応募書類をダウンロードし、募集期間内にメールにてお申し込みください。

URL：https://www.obihiro.ac.jp/facility/ccae/agri-pro

（提出先）帯広畜産大学教務課社会人教育係　rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

８．募集期間

令和５年７月１８日（火） ～ ８月４日（金）

以上

【お問合せ】
帯広畜産大学　教務課社会人教育係　担当：坂本
電話：0155-49-5325　　メール：rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

農畜産業経営の実践力を得て、北海道十勝から
世界の農畜産業のトップランナーを目指しませんか。

実施期間
2023年9月1日
»» 2024年3月15日

農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム

多彩な講師陣による履修プログラムで、地域の現場で利活用可能な実務的知識を習得し、
「農畜産プロフェッショナル経営人材」となることを目標とします。

目的に合わせて選べる2コース

実践力基礎コース

- 「日本政策金融公庫認定農業経営アドバイザー」の資格取得に対応した科目を設置
- 基礎的知識に加え農業会計や農業経営財務等の実践的な知識・技術も学べる

こんな人におすすめ
新規就農者　金融機関や農業団体の若手職員

必修科目 29 時間　選択必修科目 31 時間以上

実践力強化コース

- 実践応用科目及び実務実践科目を設置
- ケーススタディや課題解決型学習を中心とした内容
- すぐに農業経営や営農指導に活かせる

こんな人におすすめ
農家や農業法人の経営者
農業経営アドバイザー資格のある金融機関や農業団体の職員

必修科目 47 時間　選択必修科目 13 時間以上

会場	帯広畜産大学
形式	対面及びオンデマンド
定員	20名程度（各コース10名程度） ※選考の上受講者を決定します。
受講料	10万円

募集の詳細はこちらの
専用Webページから
ご覧ください。

事務局 ▶ 帯広畜産大学　教務課社会人教育係　☎0155-49-5325　Mail: rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

申込期間 **2023年7月18日（火）～ 8月4日（金）必着**

応募資格	大学入学試験条件を満たす者。詳細は募集要項をご覧ください。
募集定員	20名程度（各コース10名程度） ※応募書類にて選考を行い受講者を決定します。
受講料	10万円 ※「農業経営アドバイザー」の資格取得対応科目を受講する場合及び講師が必要とする場合は、別途指定の教材購入費用が必要となります。 ※遠隔受講時のデータ通信料は各自ご負担ください。
応募書類	①様式1「志願書」 ②様式2「履歴書」 ③様式3「農業経営に関する企画書」 ④承諾書（所属先より派遣される方のみ提出。様式および内容の規定はございません） 提出先：「帯広畜産大学教務課社会人教育係」までメール送付 Mail: rec_kyoumu@obihiro.ac.jp ※提出された応募書類は、返還しませんのでご了承下さい。 ※応募書類は、受講者選考の際の資料とするほか、本事業の方針や講義内容を検討するための資料として参考にさせていただきます。
授業時間	平日19時～21時を基本としますが、一部科目では、フィールドワークや実習を半日または終日実施、及び土日に開講することがあります。
その他	①実践力基礎コースでは「農業経営アドバイザー資格」に必要な必修科目を全て受講すると、11月に予定されている農業経営アドバイザー資格試験を無料で受験することが可能です。試験の詳細については日本政策金融公庫のホームページをご覧ください。 ②各コースを修了された方には本学から履修証明書を交付します。

科目紹介

本プログラムで実施する科目の一部をご紹介します。

帯広信用金庫
庄司智宏（上級農業経営アドバイザー） 株式会社十牛 **畠山尚史**（博士（農学））

農畜産ファイナンス

必修 選択 対面

キャッシュフローなどの視点から見る資金調達検討や多様な資金調達方法を習得し、景気変動の中で、安定的な資金調達と運用のスキルを考えます。

帯広畜産大学 顧問
白田佳子（博士（経営学））

潰さないための農業経営財務

必修 選択 対面

農畜経営に限らず安定経営は経済環境の変化に依拠するものではありません。経営者が事業にどのように向き合うかはおのずと財務数値にその結果が現れます。将来に備えた経営を数字の面から把握する重要性を学びます。

税理士法人竹川会計事務所
竹川博之（公認会計士・税理士）

実践！農業の事業承継

必修 選択 対面

農業の担い手不足が叫ばれる中、親子間承継を中心として、多くの相談事例の中から具体的な進め方、留意点等実践的な解説をします。財産の移転による相続税、贈与税、取得税等の計算の仕組みを学び、節税を考え、法人化、個人成りについても検討します。

外崎労務事務所
外崎裕康（特定社会保険労務士・行政書士）

ケーススタディに学ぶ労務管理

必修 選択 対面

畑作・酪農における労務管理について、事例を用いて実践的な知識を習得します。

経営改善フィールドワーク

必修 必修 対面

経営改善に取り組んでいる十勝の畑作・酪農・肉牛農家等を視察し、実現場での具体的な取り組み方法と改善効果等を習得します。

J-PAO 農業経営アドバイザー資格取得対応科目

選択 必修 オンデマンド

実践力基礎コースのフォローアップ体制により、「農業経営アドバイザー資格」取得を全面的にサポートします。

- 農業簿記・農業税務Ⅰ
- 労務管理Ⅰ
- 農業経営診断Ⅰ
- 農地制度・農地所有適格法人Ⅰ
- 農業マーケティングⅠ
- 農業・農村構造と農業政策Ⅰ

	必修科目	選択必修科目	選択科目
実践力基礎コース	必修	選必	選択
実践力強化コース	必修	選必	選択

対面実施　オンデマンド実施

主催：国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学

本事業は文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」の補助を受けて実施しています。

文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」

農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム
受講生募集要領

1. 目的

地域農畜産業並びに我が国の農畜産業をけん引する農畜産プロフェッショナル経営人材の育成のため、「農畜産業経営を成長産業とする高度な実務的知識と実践力の習得」と「DX による農畜産業経営の変革に主導的役割を果たしうる総合知の涵養」を人材育成の目的とした履修証明プログラムを実施します。本プログラムにより、北海道十勝地域から世界の農畜産業のトップランナーを担う「農畜産プロフェッショナル経営人材」の育成を目指します。

2. 履修証明プログラムについて

履修証明プログラムとは、社会人等を対象に大学等の教育・研究資源を活かし一定の教育計画の下に編成された、体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムです。その修了者には、学校教育法 105 条に基づき履修証明書（Certificate）が交付されます。

3. プログラムの概要

（1）コース・カリキュラムについて

本プログラムでは受講者の知識やスキル、実務経験等に応じたカリキュラム体系とするため、「実践力基礎コース」と「実践力強化コース」の2コースに分けて実施いたします。また、カリキュラムは 4 つの科目群から構成され、導入科目の「リメディアル科目」、基礎的な知識の習得や資格取得を目標とした「実務基礎科目」、実践的な知識・技術を習得するための「実務実践科目」、応用的な知識・技術を習得するための「実務応用科目」を設置しています。

（2）講義形式

「リメディアル科目」、「実務基礎科目」については、遠隔（オンデマンド）での授業を実施します。その他の科目については対面又はオンラインを併用した実施となります。詳しくは、別紙「令和5年度農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム　科目概要」をご参照下さい。

（3）講師

本プログラムにおいては、農学、経済学や経営学等の専門家に加え、基幹産業が農業である地域で活躍する社会保険労務士や公認会計士などの実務経験者を実務家教員に招き、より実践的な知識・技術を教授します。そのため実際の地域農畜産現場で利活用可能な知識・技術を習得でき、本プログラムの受講者は農畜産経営および地域農畜産業現場において、即戦力として活躍が可能となります。

（4）ネットワークの形成

本プログラムでは、農業経営アドバイザー資格の取得をサポートするための講師相談会、講師陣や履修者同士の交流等により、プログラム修了後もつながりの持てるネットワークの形成を支援します。

（5）履修期間

令和 5 年 9 月 1 日（金）～令和 6 年2月29日（木）

※実務基礎科目については、「農業マーケティングⅠ」を除き令和5年9月6日(水)～令和5年11月9日(木)の期間であれば自由にオンデマンド受講可能ですが、同期間以外の受講はできません。
「農業マーケティングⅠ」の受講期間は都合により9月6日(水)～10月4日(水)までとなっておりますのでご留意ください。

(6)授業時間・場所

平日19時～21時の実施を基本としますが、一部の授業科目については、バスツアー、実習等のため終日又は半日の実施や土日の開講となる場合もあります。
〒080－8555　帯広市稲田町西2線11番地
国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学

(7)開講式・ガイダンス、閉講式

開講式・ガイダンス:令和5年9月1日(金)19時～21時(予定)
閉校式:令和6年3月15日(金)19時～21時(予定)

(8)修了要件

①コースの修了要件

本プログラムにおける授業科目の選択・必修区分は、「必修科目」、「選択必修科目」、「選択科目」に分かれ、各コースを修了するためには、「必修科目」「選択必修科目」を合計60時間以上履修する必要があり、修了要件を満たした修了者には履修証明書を発行いたします。

「選択科目」については、修了要件の時間数にカウントされませんが、受講生の希望により自由に履修することが可能です。

必修科目	各コースで必ず履修が求められる科目
選択必修科目	各コースで指定されている科目のうち一定数の選択履修が求められる科目
選択科目	自由に履修できますが、各コースの修了要件にはカウントされない科目

②科目の修了要件

各科目の修了は、オンデマンド科目の実務基礎科目を除き、出席(対面又はオンライン)を基本的条件とし、レポート等により修了認定が行われます。万が一欠席した場合は、講義を録画視聴していただき、レポート等により修了認定が行われます。

4. コースの概要

① 実践力基礎コース

本コースは主に新規就農者、金融機関や農業団体の若手職員等を対象としています。

カリキュラムには「農業経営アドバイザー」の資格取得に対応した実務基礎科目・6 科目を設置しており、受講生は効率的な資格取得に向けた知識・技術の習得が可能となります。当該資格以外にも、農業会計や農業経営財務に係る授業科目が用意されていることから、農業簿記検定 2・3 級の資格取得相当の知識が習得できます。また、実務実践科目・12 科目を設置しており、上述の基礎的な知識だけでなく、実践的な知識・技術の習得も可能となっています。

※本コースの受講者は、農業経営アドバイザー資格試験の権利が自動的に付与され、11 月に実施される試験に合格しますと、農業経営アドバイザー資格を取得することができます。試験の詳細については日本政策金融公庫のホームページをご覧ください。なお、資格試験終了後も、プログラムは継続します。履修期間中に60時間以上の科目を修了しない場合は、履修証明書が発行されませんのでご留意ください。

履修要件:必修科目 29 時間、選択必修科目 31 時間以上

科目一覧(実践力基礎コース)

必修科目	選択必修科目	選択科目
農業簿記・農業税務 I	企業戦略論	農業経営基礎
労務管理 I	リスクマネジメント論	農業会計基礎
農業経営診断 I	経営管理のための統計入門	農業経済基礎
農地制度・農地所有適格法人 I	応用農業経済学	農畜ファイナンス(資金調達)
農業マーケティング I	事業承継および M&A	実践！農業の事業承継(相談事例から)
農業・農村構造と農業政策 I	AI と DX	潰さないための農業経営財務
プレゼンテーション演習	RESAS	儲ける農業経営(利益管理)
農業経営特別セミナー	GAP 概論	ケーススタディに学ぶ労務管理
経営改善フィールドワーク	HACCP 構築	農業経営戦略・組織論
		ケーススタディに学ぶ農地制度
		マーケティング事例分析
		農業経営に活かす農業政策

② 実践力強化コース

本コースは主に農家や農業法人の経営者、農業経営アドバイザー資格を既に取得している金融機関や農業団体の職員等を対象としています。

カリキュラムには実践応用科目・9 科目、実務実践科目・12 科目を設置しており、実務経験豊かな講師陣のケーススタディを中心とした講義内容や PBL(課題解決型学習)、グループワークやグループディスカッション等により、思考力・課題解決能力を強化することで、学んだことがすぐに農業経営や営農指導等に利活用可能なカリキュラムとなっています。

履修要件:必修科目 47 時間、選択必修科目 13 時間以上

科目一覧(実践力強化コース)

必修科目	選択必修科目	選択科目
農畜ファイナンス(資金調達)	実践！農業の事業承継(相談事例から)	農業経営基礎
儲ける農業経営(利益管理)	潰さないための農業経営財務	農業会計基礎
ケーススタディに学ぶ労務管理	マーケティング事例分析	農業経済基礎
農業経営戦略・組織論	企業戦略論	農業簿記・農業税務Ⅰ
ケーススタディに学ぶ農地制度	リスクマネジメント論	労務管理Ⅰ
農業経営に活かす農業政策	事業承継および M&A	農業経営診断Ⅰ
プレゼンテーション演習	AI と DX	農地制度・農地所有適格法人Ⅰ
農業経営特別セミナー	RESAS	農業マーケティングⅠ
経営改善フィールドワーク	GAP 概論	農業・農村構造と農業政策Ⅰ
	HACCP 構築	経営管理のための統計入門
		応用農業経済学

5. 申込手続き

(1)応募資格

以下のとおり、大学入学試験の条件を充たす者。

① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者

③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑥ 文部科学大臣の指定した者

⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

⑧ 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18 歳に達したもの

(2)募集人数

20 名程度(各コース 10 名程度)

※応募者が多数の場合は、応募書類による審査を行います。

(3)受講料

10 万円

※1.「農業経営アドバイザー」の資格取得対応科目を受講する場合及び講師が必要とする場合、別途指定の教材購入費用が必要となります。

※2. 支払方法については、選考結果通知後にご連絡いたします。

※3. 遠隔受講の際のデータ通信料は各自ご負担下さい。

(4)申込期間

令和 5 年 7 月 18 日(火)～令和 5 年 8 月 4 日(金)【必着】

(5)応募書類

①様式1「志願書」

②様式2「履歴書」

③様式3「農業経営に関する企画書」

④承諾書(所属先より派遣される方のみ提出・様式および内容の規定はございません)

※提出された応募書類は、返還しませんのでご了承下さい。

※応募書類は、受講者選考の際の資料とするほか、本事業の方針や講義内容を検討するための資料として参考にさせていただきます。

(6)提出先

応募書類に必要事項を全て記入し、メールで提出して下さい。また、応募書類は本プログラムのホームページから取得して下さい。

〒080－8555 帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学 教務課社会人教育係

農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム事務局 坂本宛

TEL:0155-49-5325 E-mail:rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

HP: https://www.obihiro.ac.jp/facility/ccae/agri-pro

6. 選考方法・日程

応募書類にて審査を行い、令和5年 8 月 14 日(月)迄に、メールでお知らせします。

7. 講義スケジュール

令和5年度農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム「カリキュラム年間スケジュール」をご参照下さい。

8. 個人情報の取り扱いについて

①帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

②応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講可否の連絡等、本学リカレント教育の案内業務を行うためにのみ利用します。

③講義等をより効果的にするために、講師及び受講生へ所属機関・氏名を提供することがあります

④農業経営アドバイザー資格試験の受験者は日本プロ農業支援機構へ所属機関・氏名・連絡先を提供します。

9. 問い合わせ先

〒080－8555　帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学　教務課社会人教育係

農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム事務局　坂本宛

TEL:0155-49-5325　E-mail:rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

【別紙】

令和5年度農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム　科目概要（必修科目：◎、選択必修科目：○、選択科目：△）

科目名	科目区分	時間	選択・必修		形式	所属・講師	内容
			基礎	強化			
農業経営基礎	リメディアル科目	2	△	△	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	帯広畜産大学・三宅俊輔　博士（農学）	履修プログラム科目を受講するための農業経営の基礎的知識を習得します。 ※9 月末までの公開となります。
農業会計基礎		2	△	△	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	帯広畜産大学・河野洋一　博士（国際バイオビジネス学）	履修プログラム科目を受講するための農業会計の基礎的知識を習得します。 ※9 月末までの公開となります。
農業経済基礎		2	△	△	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	帯広畜産大学・窪田さと子　博士（畜産衛生学）	履修プログラム科目を受講するための農業経済の基礎的知識を習得します。 ※9 月末までの公開となります。
農業簿記・農業税務Ⅰ	実務基礎科目（農業経営アドバイザー資格科目） 教材費用が別途必要となります。	2	◎	△	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	森税務会計事務所・森剛一（税理士）	農業経営アドバイザー資格に準拠した簿記・税務に関する知識を習得します。 ※11/9 までの公開となります。
労務管理Ⅰ		2	◎	△	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	社会保険労務士法人リライアンス・鈴木　泰子（社会保険労務士）	農業経営アドバイザー資格に準拠した労務管理に関する知識を習得します。 ※11/9 までの公開となります。
農業経営診断Ⅰ		2.5	◎	△	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	(株)吉川順子事務所・吉川順子（税理士・中小企業診断士）	農業経営アドバイザー資格に準拠した経営診断に関する知識を習得します。 ※11/9 までの公開となります。
農地制度・農地所有適格法人Ⅰ		1	◎	△	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	岐阜県農業会議・堀口浩	農業経営アドバイザー資格に準拠した農地制度等に関する知識を習得します。 ※11/9 までの公開となります。

農業マーケティングⅠ	実務基礎科目 （農業経営アドバイザー資格科目） 教材費用が別途必要となります。	1.5	◎	△	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	(株)結アソシエイト・松田恭子	農業経営アドバイザー資格に準拠したマーケティングに関する知識を習得します。 ※10/4 までの公開となります。
農業・農村構造と農業政策Ⅰ		1	◎	△	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	宮城大学・大泉一貫　博士（農学）	農業経営アドバイザー資格に準拠した農業政策に関する知識を習得します。 ※11/9 までの公開となります。
プレゼンテーション演習	実務実践科目	4	◎	◎	対面	帯広畜産大学・岩本博幸　博士（農学）他	経営改善に取り組んでいる農業経営者を特別講師とするセミナーを実施し、実践的な知識を習得します。
農業経営特別セミナー		6	◎	◎	対面	未定	経営改善に取り組んでいる農業経営者を特別講師とするセミナーを実施し、実践的な知識を習得します。
経営改善フィールドワーク		9	◎	◎	対面	未定	経営改善に取り組んでいる十勝の畑作・酪農・肉牛農家等を視察し、実現場での具体的な取り組み方法と改善効果等を習得します。
企業戦略論		6	○	○	対面	未定	事業戦略に焦点を当て，ケース分析から農畜産企業の戦略立案を実践的に習得します。

リスクマネジメント論	実務実践科目	4	○	○	対面	帯広畜産大学顧問・白田佳子 博士(経営学)、 浦田コンサルティングオフィス・浦田祥範	我々の生活は日々リスクにさらされています。「リスクとは？」。本講義ではリスクの正しい概念を学びます。 農業経営上の重視すべきリスクに対するコントロール，マネジメントの実務的知識を習得します。
経営管理のための統計入門		6	○	△	対面	帯広畜産大学・岩本博幸 博士(農学)	農業経営・財務指標の統計的な把握方法とその活用について実践的な知識を取得します。
応用農業経済学		4	○	△	対面	帯広畜産大学・岩本博幸 博士(農学)	SDGs の観点から多様な農畜産業の課題解決に関する手法に関する知識を習得します。
事業継承および M&A		6	○	○	対面	帯広畜産大学顧問・白田佳子 博士(経営学)	事業継承は我が国が直面する大きな課題です。廃業によりこれまで育ててきた固有技術が失われていく事は、我が国にとって重大な危機と言えます。本講義では事業継承の事例を踏まえながら具体的対策について学びます。
AI と DX		6	○	○	対面	NTT 東日本・河添裕介	AI に関する基礎的な知識とともに，農業経営への DX 導入に関する知識を習得します。
RESAS		2	○	○	対面	北海道経済産業局・大関太一	地域の現状・実態を把握することで，データを活用した事業戦略作成の考え方を習得します。

GAP 概論	実務実践科目	5	○	○	対面	帯広畜産大学・窪田さと子博士（畜産衛生学）	GAP の基礎的概念および GAP による経営改善の考え方について実践面を重視した知識を習得します。
HACCP 構築		15	○	○	対面	帯広畜産大学・藤倉雄司 博士（農学）	HACCP の基礎的概念および HACCP による経営改善の考え方と実践面を重視した知識を習得します。
農畜ファイナンス（資金調達）	実務応用科目	8	△	◎	対面	帯広信用金庫・庄司智宏（上級農業経営アドバイザー）、㈱十牛・畠山尚史 博士（農学）	キャッシュフローなどの視点から見る資金調達検討や多様な資金調達方法を習得し、景気変動の中で、安定的な資金調達と運用のスキルを考えます。
実践！農業の事業承継（相談事例から）		6	△	○	対面	（税）竹川会計事務所・竹川博之（公認会計士・税理士）	農業の担い手不足が叫ばれる中、親子間承継を中心として、多くの相談事例の中から具体的な進め方、留意点等、実践的な解説をします。 財産の移転による、相続税、贈与税、所得税等の計算の仕組みを学び、節税を考え、法人化、個人成りについても検討します。
潰さないための農業経営財務		10	△	○	対面	帯広畜産大学顧問・白田佳子 博士(経営学)	農畜経営に限らず安定経営は経済環境の変化に依拠するものではありません。経営者が事業にどのように向き合うかはおのずと財務数値にその結果が現れます。将来に備えた経営を数字の面から把握する重要性を学びます。

儲ける農業経営(利益管理)	実務応用科目	6	△	◎	対面	(税)竹川会計事務所・竹川博之(公認会計士・税理士)	農業を取り巻く情勢が厳しくなる中、ドンブリ勘定ではなく、時代に合った利益管理が強く求められています。 決算書の仕組みを理解し、畑作、酪農、肉牛の営農タイプ別の手法を学び、農協等金融機関との対話力の醸成を学びます。
ケーススタディに学ぶ労務管理		4	△	◎	対面	外崎労務事務所・外崎裕康(特定社会保険労務士・行政書士)	畑作・酪農における労務管理について、事例を用いて実践的な知識を習得します。
農業経営戦略・組織論		6	△	◎	対面	帯広畜産大学・河野洋一博士(国際バイオビジネス学)	農業法人経営の組織マネジメントについて実践的な知識を習得します。
ケーススタディに学ぶ農地制度		2	△	◎	対面	(一社)北海道農業会議・佐藤匡紀	農業経営の法人化による経営改善と農地の売買と賃貸借の実務について習得します。
マーケティング事例分析		4	△	○	対面	未定	マーケティング戦略策定のプロセスについて事例を中心とした実践的な知識を習得します。
農業経営に活かす農業政策		2	△	◎	対面	北海道農政事務所	農業政策の基本的方針をふまえた補助事業の活用に関する実務的知識を習得します。